



I 事業概要

I 事業概要

1 事業の概要

文部科学省は『平成27年度から、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的として「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」（文科省 HP より）』を公募した。

鹿児島県からは、鹿児島大学が中心（COC+大学）となり、本学を含む県内7校（COC+参加大学）、鹿児島県、企業等14団体が参加して、『食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム』を申請し、採択された。

本学は、COC+に参加すると同時に、地方創生を一層推進するための全学的なカリキュラム改革案を提出し、鹿児島大学に続いて県内では二校目となる「地（知）の拠点（COC）大学」に認定された。

以下、本学のCOC事業について概要を説明する。

COC+大学の設定した目的に加えて、本学が独自に設定した目的は次のとおり。

- (1) 本学独自の事業協働地域と事業協働機関を設定し地域課題の解決に取り組む。
- (2) 地域課題解決のために必要とされる人材育成を行う。
- (3) 地域志向の学生を増やし地元就職率を上げる。
- (4) 事業協働地域の一つの課題である「国際化」に対応できる人材を育成する。
- (5) 事業協働機関と協力して地元魅力的な雇用を創出し学生・地域のニーズに応える。

これらの目的を達成するために、「フィールドワークをベースにした地域が求める人材育成プログラム」という名の事業を設定。本事業の事業協働機関は、鹿児島市、西之表市、阿久根市、南大隅町、大島郡大和村、かごしま市商工会、鹿児島相互信用金庫、鹿児島興業信用組合。

事業協働機関の役員等、鹿児島大学の責任者、本学の学長、本学の教職員を構成員とする「地域人材育成委員会」を設置し、「地域の課題解決」と「地域が求める人材育成」等について協議する。その決定を受けて、「教育プログラム開発委員会（委員は事業協働機関の役員等及び本学の関係教職員）」が具体的な教育プログラムの構築や実施計画の策定を行う。

事業協働地域の課題「地域経済の再生、福祉・介護・育児、国際化」に取り組み、「社会性・国際性があり、チームの中で仲間と協調して主体的に仕事ができるコミュニケーション能力の高い人材」を養成するために「地域人材育成プログラム」と「国際ビジネスとグローバル英語プログラム」を立ち上げる。

学生たちが「地域志向科目」、「地域人材育成科目」、「地域志向演習」、フィールドワーク、インターンシップなどを通して、地元鹿児島県の課題に向き合い、専門的・実践的にアプローチし、卒業後は地元の企業等に就職して地域に貢献することを目指す。平成26年度現在71.3%の県内就職率を事業最終年度の平成31年度には83.0%に引き上げ、鹿児島の地方創生に寄与することが数値目標である。

2 事業の目的

本補助事業の全体の目的は、「地域人材育成プログラム」と「国際ビジネスとグローバル英語プログラム」を通して事業協働地域の課題の解決に取り組み、地域が求める人材を育成して、学生の地元就職率を上げることである。

平成28年度から新カリキュラムにおいて両教育プログラムを実施し、授業や演習におけるフィールドワークの充実・発展を図り、地域志向の学生を増やす。さらに、事業協働機関と協力して魅力的な雇用を創出し学生・地域のニーズに応えることにより、事業協働地域における就職率の改善を図り地方創生に資することが、本補助事業の目的である。

3 事業の内容

本事業は、地元就職率の向上・雇用創出について、地域に資する人材育成のための教育カリキュラム改革の一層の充実・発展を目指す補助事業であり、内容は以下のとおりである。

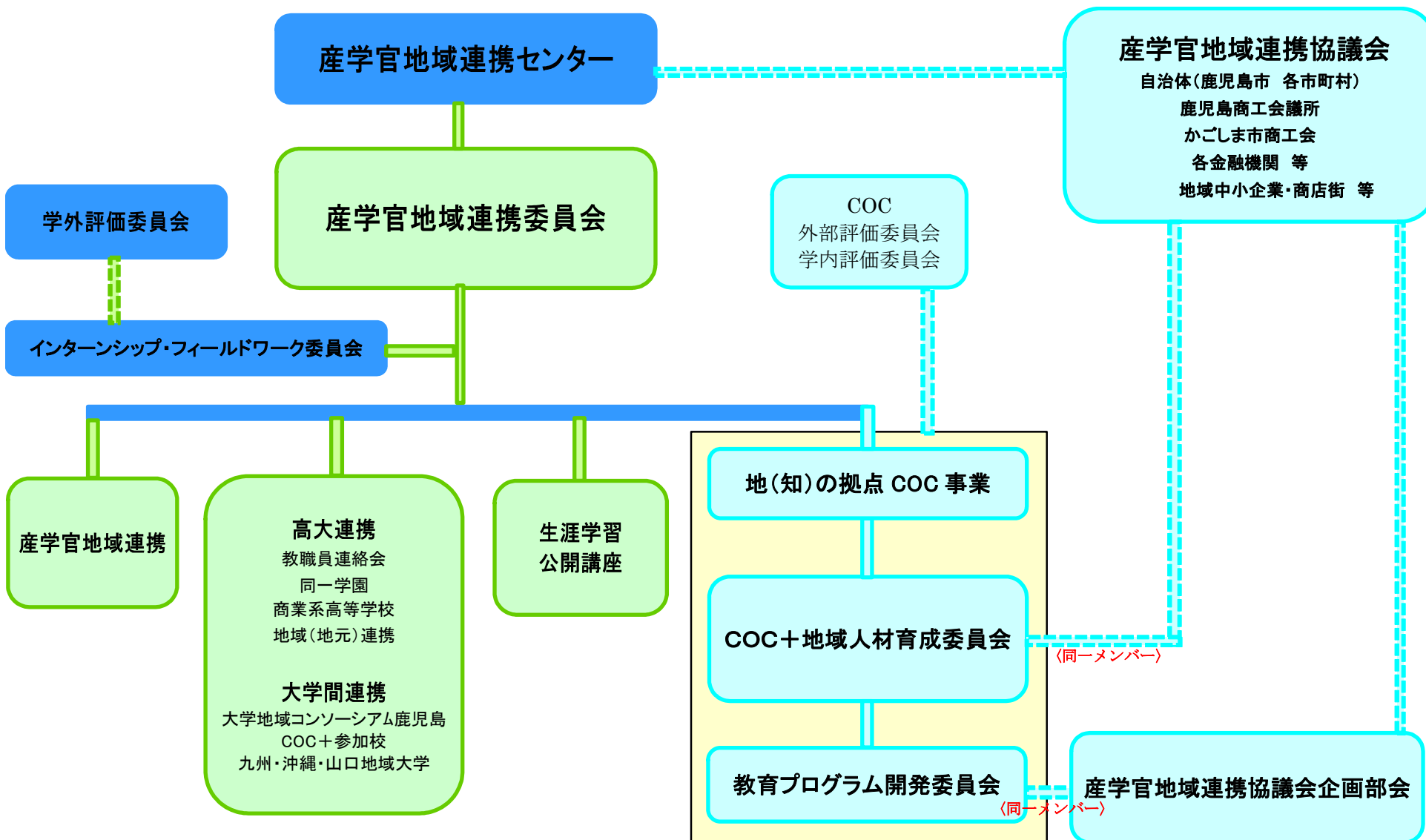
- ① COC+事業の円滑な推進のために、産学官地域連携センター内に設置したCOC推進室にてCOC+関連事務を実施する。
 - ・COC+推進副コーディネーター、事務補助員を継続雇用して産学官地域連携センターとの連絡・調整も行う。
 - ・COC+大学と連絡を密にして事業全体の進捗状況を把握する。また、事業協働機関と連絡・調整を行い地域課題やニーズを把握し、取組事業に反映させる。

- ②事業協働地域の協議・意思決定機関として事業協働機関の代表者等を委員とする「地域人材育成委員会」や運営機関の「教育プログラム開発委員会」を開催する。
- ・委員会を実施し、委員長である学長の下で事業協働地域の課題・ニーズを検討し、具体的な課題や事業協働機関の役割分担に関する基本方針や、地域が求める人材像を確定し、必要な能力を決定する。
 - ・「教育プログラム開発委員会」を実施して「地域人材育成委員会」で決定した教育方針に沿って教育プログラムの開発や意見交換等を行う。
- ③教育プログラム科目の施行
- ・地域課題の解決に必要な能力を獲得するために「地域人材育成プログラム」、また、英語を使って地域に貢献したい学生のために「国際ビジネスとグローバル英語プログラム」を開講し、学生が混乱なく履修できるよう教育環境を整備充実する。
 - ・本プログラムを修了した学生に対して修了証を発行し、修了証が地域での就職に役立つように地域の認知度の向上を図る。
- ④事業協働機関と連携して既存事業の経営安定と鹿児島県の観光や貿易の分野等で新規事業開拓のための支援を行い、雇用拡大を促進する。
- ・他県のCOC+大学や関係機関の視察により、新規事業の開拓や雇用拡大について学ぶ。事業協働地域の企業等と現況等の摺合せを行い、新規採用が生じた際に本学の学生が採用されるように良好な関係を構築する。また、地方公共団体等との協定書も作成する。
 - ・国内外インターンシップ・フィールドワークの開拓及び実施を行い、学生への地元就職意識を涵養させ雇用創出に結び付ける。
- ⑤ COC+事業専用のホームページを開設する。取組と成果を逐次報告・公表し、事業協働機関とは常に情報の共有化を図る。
- ⑥ Web キャリア・ポートフォリオを活用し、学生の振り返り作業によるPDCA活動を実施する。
- ・取組事業の改善や学生への指導・助言に役立てるため、Webキャリア・ポートフォリオに記録された内容を教職員が共有化する。
- ⑦学内評価委員会と学外評価委員会を開催する。
- ⑨地域や事業協働機関などへの報告の場として事業報告会を開催する。
- ⑩報告書の作成と配布。

これらを通じて、選定取組を更に充実・発展させ、鹿児島国際大学における地元就職率の向上と鹿児島県内における雇用創出を目指す人材養成機能の強化を図ることが、本事業の内容である。

4 取組の運営組織・実施体制

産学官地域連携センター・地(知)の拠点COC事業体制図



5 取組の評価体制・評価方法

(1) 評価体制

外部評価を実施し、結果を地域人材育成委員会及び教育プログラム開発委員会、産学官地域連携委員会、教授会、大学評議会に報告する。

《外部評価》

・外部評価委員会：鹿児島大学、企業の経営者を委員とする（表1）。

【表1】外部評価委員

氏名	所属・職名
宮 廻 甫 允	鹿児島大学 名誉教授
岩 元 修 士	株式会社山形屋 代表取締役社長
門 田 晶 子	湧上印刷株式会社 代表取締役社長

(2) 評価方法

産学官地域連携センター COC 推進室により作成された年次報告書を基に、事務担当からのヒアリングや取組項目別の自己評価（取組内容、成果と課題、自己判定、理由）の結果をふまえ、評価する。

(3) 項目別評価（2項目）

当該事業年度における「運営組織・実施体制」「事業活動状況」の2項目について、その取組み内容が成果をあげているかという観点から以下の5段階（5点満点）による評価と理由を付す。

【評点】

- 5点「十分評価できる」
- 4点「評価できる」
- 3点「どちらでもない」
- 2点「あまり評価できない」
- 1点「まったく評価できない」

(4) 全体評価

当該事業年度における事業全体の取組みについて、取組み内容が成果をあげているかという観点から以下の5段階（5点満点）による評価と理由を付す。

【評点】

- 5点「十分評価できる」
- 4点「評価できる」
- 3点「どちらでもない」
- 2点「あまり評価できない」
- 1点「まったく評価できない」

鹿児島国際大学 事業評価シート①,②(取組項目別)

[平成27年度]

【自己評価】

1. 取組項目					
2. 取組内容					
3. 成果と課題	2. 取組内容を踏まえ、該当年度の成果と次年度への展望(課題・改善策等)を記入				
評点	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2. あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理由					

【外部評価委員会評価】

評点	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2. あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理由					